

家族負担軽減へ 安い宿泊施設を

長期入院の難病患者

難病などで病院に長期入院する患者の家族のために、低料金で宿泊施設を提供する「ファミリーハウス」を組織的に運営する道内初の団体が十七日、札幌で発足する。「北海道ファミリーハウス」が十七日、札幌で発足する。患者家族の経済的負担軽減を目指し、アパート所有者らに空き部屋を開放してもらえ、よう呼び掛けるほか、活動資金の提供を呼びかける。

ファミリーハウスは、札幌や旭川で一部アパート経営者らが運営したり、室蘭市の日鋼記念病院が独自に設置しているケースがあるが、組織的な運営を目指す団体は道内で初めて。

札幌 発足「ファミリーハウス」運営団体

北海道ファミリーハウスは、小児がんの治療に関係が深い北海道骨髄バンク推進協会が設立母体の中心で、理事長は北海道千歳リハビリテーション学院の山本克郎学院長が務める。

アパートやマンション所有者のほか、ホテルなどにも部屋の提供を働きかけたり、難病治療を行っている病院などにも協力を呼び掛ける方針で、順調に会員数が増えれば、組織を任意団体から民間非営利団体(NPO)とすることも検討している。

一方、会費一〇二千円の正会員、同一万円の法人会員、同千円の賛助会員を募集し、集まった会費を運営に充てることになっている。問い合わせは同ファミリーハウス事務局 ☎011・242・9151へ。